



	子どもの反応・教師のかかわりなど	指導上の留意点など
つかむ	<p>子どもの反応・教師のかかわりなど</p> <ul style="list-style-type: none"> ・導入場面や問題提示の工夫 →子どもに「問い」を持たせること →表現する意欲に <p>「思考を深める意図的なゆさぶりやしかけ」でズレをつくる</p> <p>①既習とのズレ ②予想とのズレ ③感覚とのズレ ④友だちの考えとのズレ（誤答の活用）</p> <p>子どもに問いをもたせる</p> <p>課題 …子どもと課題意識を共有</p>	<p>指導上の留意点など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要感のある課題の設定 <p>自己決定 …子ども自身が、自ら課題を見つけ、見通しを持ち、個人で思考したり表現したりできるように</p> <p>生徒指導の3機能</p>
考える	<p>「正答」の場合…理由（根拠）を示しながら、みんなに分かりやすく伝えられるように…</p> <p>「誤答」の場合…上手に活用することで、みんなの理解が深まります…</p> <p>途中でよいので、自分の考えを伝えられるように…</p> <p>「わからない」と言える学級づくりが大切…</p> <p>わかった！できた！</p> <p>できた！</p> <p>ここまでなら…</p> <p>わからない…</p> <p>④友だちの考えとのズレ（誤答の活用）</p>	<p>・最初から「筋道立てて」を期待するのではなく、少しずつみんなが筋道立てて考えられる意識で指導を</p> <p>教師は多弁を慎む 時には沈黙も大切です。子どもたちが、自分はどう思うか、自分の考えと比べてどうか、自覚するには「問」が必要だからです。</p> <p>・声かけは最大の支援 ・教師も子どもも「聴き上手」を意識して</p>
深める	<p>□根拠を明確に</p> <ul style="list-style-type: none"> ・根拠を示しながら… ・教科の用語を用いながら… ・絵、図、表などを使いながら… <p>□誤答を大切に</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多くの子どもが間違えていれば、積極的に取り上げて確認 ・一部の子どもが間違えていれば、慎重に取り上げて確認 ・みんながあってれば、ゆさぶりとして教師から提示することも… <p>うまく伝えられない…伝え方は…？</p> <p>必要感のあるスキル指導を 子どもが困り感を持ったときこそ、話し方や聴き方のスキルが身に付くとき</p> <p>□「つなぐ意識」を大切に</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもと子どもの考えをつなぐ ・子どもの考えとテキストをつなぐ ・前の考えと今の考えをつなぐなど <p>寄り添う気持ちを大切に 「わからない」子どもの気持ちに寄り添い、「ここまでなら」の意見を生かして、いろいろな立場の子どものかかわり合いを大切にします。</p> <p>「聞く」から「聴く」へ 本来、聴くことは楽しく、聴くことから考えをめぐらせることに意味があるのです。「聴き取る」ことが大切です。</p> <p>自己存在感・共感的人間関係 …教師の「つなぐ意識」 ↓ 考えをつなぐことで、子どもに「聴いてくれた」「取り上げてくれた」「つなげてくれた」思いを感得させる</p> <p>生徒指導の3機能</p> <p>まとめ…子どものことばも使って</p>	<p>共感的人間関係 …お互いのよさを認め合えるように ↓ 自己肯定感を育む</p> <p>生徒指導の3機能</p> <p>タイムマネジメント</p> <p>導入や復習が長い</p> <p>ねらい・論点が不明確で話し合いが長引く</p>
まとめる	<p>発展問題にも挑戦してみたい！</p> <p>今度は間違えずに！</p> <p>今度は最後まで！</p> <p>自分でやってみよう！</p> <p>時間内で力をつけること ふり返りや適用問題を設定して、確認や定着の時間を充実させます。習熟の遅い子どもへの支援はもちろん、習熟の早い子どもへの手立ても忘れずに！</p> <p>自己存在感…承認や励ましを ↓ 「わかった！」「できた！」 子ども一人一人が学ぶ楽しさや達成感、成就感を感得できるように</p> <p>生徒指導の3機能</p> <p>ふり返りや適用問題等の設定</p>	<p>身に付かない</p> <p>導入や復習が簡潔</p> <p>ねらい・論点が明確で話し合いがスッキリ</p> <p>身に付く</p> <p>適用問題で確認・定着</p>



授業改善資料⑤

「聴き合い高め合う授業設計 ～生徒指導の3機能とタイムマネジメントを意識して～」

小松教育事務所

平成24年9月24日版